

てわて グラフ

未来の地球のために
できることを
ここに、岩手から

特集① 温室効果ガス2050年排出量実質ゼロに向けて

特集②

新型コロナウイルス感染症対策

いのちと人権を守る
コロナ禍を乗り切るための行動とは？

表紙の人

株式会社カダルミライ
大清水 吉典さん、五日市 洋さん

おもてなしの宿・おぼない
大建 宗徳さん、ももこさん

支え合う関係・ベストパートナー

座敷わらしの里で

仲間と「カダルミライ」

株式会社カダルミライ

大清水 吉典さん

(代表取締役)

五日市 洋さん

(取締役)

おもてなしの宿・

おぼない

大建 宗徳さん

ももこさん

×

「お互いに支え合いながら幸福を追求していくことができる地域社会」の実現を目指して邁進する人々の姿を紹介します。



今、二戸市の金田一温泉に新たな風が吹いています。馬淵川を望む高台には、木造のロッジ、ウッドデッキ、テントなどが出現。まるで北欧のような、おしゃれな景観が広がっています。

この仕掛人は、おぼない旅館の支配人・大建宗徳さんおわたてむねのりと若女将のももこさん。宿の敷地を利用してロッジなどを自作。「YUDA BASE」ユダベースとして、屋外イベントを楽しめる新スポットを作り、温泉郷に新たなにぎわいを生んでいます。

かつて、多くの団体客でにぎわった金田一温泉。最盛期は20軒あった宿も今は6軒にまで減少。温泉街の将来への危機感から、地域おこし会社「株式会社カダルミライ」が2018年に設立されました。代表に就任したのは、当時のにぎわいを知る

おほしみずよしのり
大清水吉典さん。「地元の人も観光客も、金田一温泉で『かだつて(参加して)』ほしい」と社名に込めた思いを話します。

「地元をよく知る吉典さんがやるなら」と、宗徳さんと座敷わらしの宿・緑風荘のオーナー・五日市洋さんいつかいちしやうも取締役。皆が集まると、いつも笑顔。和気藹々としたあいあい雰囲気で、いろんなアイデアが生まれます。

2022年3月には、同社の運営する温泉施設「カダルテラス金田一」が誕生す



大清水吉典さん(右)と五日市洋さん(左)

「この自然も含めて『一つの宿』。街に明かりを灯し、にぎわいをつくりたい」と語る2人は、地元・金田一温泉の生まれ。「株式会社カダルミライ」の取締役として、二戸市と協力しながら、公民連携の新施設「カダルテラス金田一」の整備に取り組む。



大建宗徳さん(左)とももこさん(右)

県内外から常連客が訪れる人気の宿おぼない旅館を夫妻で切り盛り。ミュージシャンを招待した「温泉ジャズ」の開催、カヤックなどの水上スポーツ体験など、地元の魅力を生かした企画を実現。この夏、宿のロビーを「喫茶おぼない」に改修。地元の食材を使った手作りケーキのファンも多い。



る予定。ホテル、飲食スペース、屋外プールなどを備え、にぎわいの中核になることが期待されています。4人と温泉街を歩くと、どこからともなく「かだつて(入れて)」という不思議な仲間たちの声が聞こえてきそう。もちろん答えは「かだつて」。